

ウガンダの携帯電話事情について パート②

こんにちは。私がウガンダに来て早くも3ヶ月が過ぎました。日本は秋で、紅葉がキレイな時期でしょうか？ウガンダは雨が降ると寒いですが、気温の変化がほとんどありません。四季があるのは日本ならではの良いところだと思います。今回は前回に引き続き、ウガンダの携帯電話事情について紹介します。

ウガンダで携帯電話を使うために必要なものは3つ！

①SIM フリー端末



②SIM カード



標準 SIM マイクロ SIM

左から MTN 社、airtel 社、Orange 社のも
の。ウガンダではこの3社が主流です。

③Air time



SIM とは

「Subscriber Identity Module」の略です。携帯電話やスマートフォンは、端末だけでは電話回線を使うことができません。SIM カードを挿れることで、端末に電話番号が与えられ、電話通信や電話回線を使ったネット通信が使えるようになります。

SIM の種類

SIM には、標準 SIM、マイクロ SIM、ナノ SIM の3種類があります。私は、貸与されている携帯電話用の標準 SIM と、Nexus5 用のマイクロ SIM を持っています。また、iPhone はナノ SIM が使われています。

SIM フリーとは

SIM フリーの端末は、SIM カードを自由に入れ替えることができます。私の場合は、首都で Orange 社の SIM カードを購入したのですが、任地では電波が入らなかったため、新たに airtel 社の SIM カードを購入しました。首都や近くの街など Orange 社の電波が入るところで挿し替えて使っています。

SIM ロックとは

他社の SIM カードが読み込めないように端末に細工されているものが SIM ロックです。SIM ロック端末では、契約したキャリア会社の SIM カードしか使うことができません。

携帯電話が使えるようになるまでの流れ

①SIM フリー端末を購入する

通信会社の店舗だけでなく、地方の街の露天などどこでも購入できます。ショーケースにたくさんの携帯電話やスマートフォンが並べられています。新品から中古、機能や値段も様々ですが、日本製や iPhone はほとんど見かけませんし、日本で購入するより高価です。

②SIM カードを登録する

SIM カードをキャリア会社の窓口で登録します。登録用紙に必要事項を記入し、パスポートのコピーやパスポートサイズの写真を提出します。約 30 分で登録が終わり、SIM カードを端末に挿すと使えるようになります。とてもかんたんです。

③Air time をチャージする

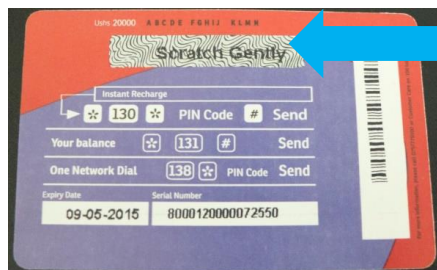
初めに無料通話分がいくらか付いていますが、すぐに無くなってしまいます。ウガンダで携帯電話を利用するには Air time と呼ばれるプリペイド式のカードを使い、使いたい分の料金をチャージします。この Air time が切れると通話途中でも使えなくなります。



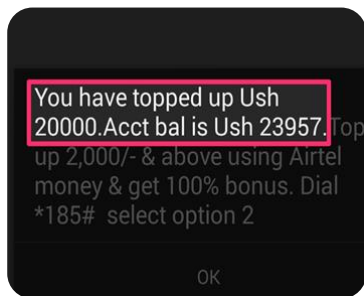
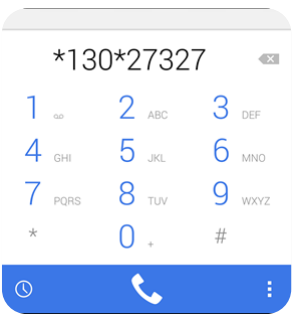
SIM を 2 枚挿すこともできます。



Air time のチャージ方法 (airtel の場合)



1. チャージしたい SIM カード用の Air time を購入します。
2. 裏のこの場所をコインなどでスクラッチします。ここに PIN コード (数字) が記載されています。
3. ※130※PIN コード#を入力します。これでチャージ完了です。



PIN コードを入力するとメッセージが来ます。今回は 20000 ウガンダシリング (Ush) チャージしたので 23957Ush 分使えるようになりました。(2014/10/22 19:00 現在 1US\$=107 円=2710Ush)

・Air time は 500~20000Ush まであり、食料品と一緒に販売しているお店も多く、購入できるお店には **airtel Air time** など看板がでています。

あとがき

「2年契約で端末代金が実質0円」などSIMロックならではのメリットもあります。頻繁に機種を変更したい方や、海外によく行く方はSIMフリー端末がオススメです。日本では 2015年以降は各キャリア会社によるSIMロック解除が義務化される予定です。現時点でも、各社で一部端末のSIMロック解除を受け付けています。もし解除して海外に持っていく場合は、その国の電波に対応しているか(例 GSM。ウガンダ通信 2号参考)確認してください。私が日本に帰るころにはSIMフリーが当たり前になっているかもしれませんね。